

令和7年度

# 浜松市立相生小学校 第3回 学校運営協議会

令和7年 11月12日(水)  
協議会 13:45~15:45  
(うち授業参観13:50~14:10)  
場 所:多目的室

## 次 第

〈 司会:前田 記録:伊藤 〉

開会 開催要件(過半数の出席)確認

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長の選出

4 前回会議録確認

5 熟議 〈 議長:中川 記録:伊藤 板書:前田 ※TVモニターに映します〉

◎「多様性を認め合える安心感のある学級・学年・学校づくりの具体策」について  
～「学校の現状」を知っていただき、  
「支援の方法や関わり方」について共に考える～

6 報告

・学校支援CDからの活動報告

7 連絡

・次回開催日時 第4回学校運営協議会 2月25日(水) 8:00~11:00  
8:15~ 8:35 感謝する会  
8:40~ 9:20 風の子太陽の子応援団まとめの会  
9:25~11:00 運営協議会

(1) 学校評価について (2) 来年度学校運営の基本方針について (3) 自己評価について

令和7年度 第2回相生小学校運営協議会 会議録（要点記録）

（敬称省略）

- 1 開催日時 令和7年7月25日（金） 13時20分から15時30分
- 2 開催場所 相生小学校 多目的室
- 3 出席委員 大谷一雄、水谷加寿代、原隆之、森田賢児、鈴木麻衣子、  
中川有香（学校支援コーディネーター）、高橋克好、鈴木徹也
- 4 欠席委員 廣野篤男
- 5 オブザーバー 佐々木千枝子・松本薫（学校支援コーディネーター）
- 6 学校関係 小林 延和（校長）、岡本綾子（教頭）、前田武稔（主幹教諭）、  
伊藤龍彦（CSディレクター）  
鈴木康之（1年主任）、高林佳世子（1年担任）  
新井智香（2年主任）、村上友香（2年担任）、竹村治城（2年担任）  
鈴木駿也（3年主任）、生崎貴代（3年担任）  
田村暢之（4年主任）、木場世羅（4年担任）、野部桃子（4年担任）  
中村真季子（5年主任）、三谷正純（5年担任）、中村光太（5年担任）  
宮本朋典（6年主任）、鳥居亜弥（6年担任）、吉田繁希（6年担任）  
高山出美（発達学級主任）、森拓真（発達学級担任）  
尾嶋渉（生徒指導主任）、石岡公香（養護教諭）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 伊藤 龍彦
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について意見を求めたところ、中川委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 前期学校評価結果と今後の取組  
（熟議）課題を踏まえた改善策の検討
- (2) 多様性を認め合える安心感のある学級・学年・学校づくりに必要な支援について  
（熟議）学校・家庭・地域でできること

11 会議記録

司会の前田主幹教諭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 前期学校評価結果と今後の取組

（熟議）課題を踏まえた改善策の検討

議長の指示により、前田主幹教諭から、別紙資料に基づき、学校評価アンケート概要及び熟議の方法について説明があり、委員と相生小職員とで、課題に対するグループミーティングを実施し情報交換をした。各グループからは、以下の発言があった。

- ① 主体的な学習をより進めていくために、家庭学習をどのように進めていくか。
  - ・ 子供によってはどのような自主勉強をすればよいか分からないことがある。自主勉

強を課題にするなら担任の手を入れる必要があると考える。それが、難しいなら、計算などの基本的なことをやらせるべき。基本的なことを身につけないと、中学・高校へ行ったときに困る。

- ・ 自分のできる範囲で一つのことをしっかりと続けることが大切。学校と家庭の連携が重要。宿題の量を増やすだけでは、解決しない可能性がある。自主勉強については、やり方を繰り返して説明する必要がある。(Aグループ)
  - ・ 授業について、どのような授業を目指しているのか？昔は、暗記学習も多かったが、今は、いろいろな友達の考えを聞いて知識を習得すると聞き、感心している。家庭学習は、取り組む子は黙っていても取り組む。家でも見届けが必要だと思う。最低限の自主学習のノルマがあってもいい。自主学習のやり方を学校できちんと押さえていかなければならない。(Bグループ)
  - ・ 学ぶ意義を伝えていくことが大切だと思う。図書の活用(例、偉人の本)、をし、先人の生き方から学ぶことで、学ぶことの大切さに気づき、意識が高まる。地域の人からも学ぶ。(Cグループ)
  - ・ 家では宿題はしているが、遊びに行きたい気持ちが強い。家庭ではどのくらいやらせればいいのか、発信してもらえると助かる。自主勉強を3年生くらいから始めているが、いつやるかは、自分でスケジュール管理が必要。自分で考えてやることは、すごい。考えてもらうことはいいことだが、差がある気がする。(Dグループ)
  - ・ 家庭学習は、学年ごとに子供たちの様子を見ながら決めている。家庭では、めあてを決めて宿題に取り組んで欲しい。(Fグループ)
- ② 授業づくりの時間を生み出すために、何ができるか。
- ・ 新しい学習の形に、教員も戸惑いもある。考えるための時間をどうしたら確保できるだろうか。(Bグループ)
  - ・ ICTを活用した授業については、子供たちが必要に応じて必要な情報を選びとる。児童たちに任せる。学年に応じて、その度合いが異なるため、保護者の理解が必要。(Fグループ)
- ③ 挨拶への意識をさらに高め、保護者や地域にも伝わるようにしていくために、何ができるか？
- ・ 朝、結構あいさつの声が聞こえる。恥ずかしがる子もいるが、返してくれる子も多い。時代の変化もあるかもしれないが、普段、よく会う人にはして欲しい。どうしてあいさつをするのか、挨拶をするとどんないいことがあるのか、を知ることから始める必要がある。(Bグループ)
  - ・ 地域の実態として、立ち止まって挨拶をしてくれる子もいる。しかし、物足りなさも感じている。まずは、旗振りの保護者側の意識改革も必要ではないか。この地域では、保護者が、お互いに子供たちを見守っている風潮がある。教室に入るときの挨拶は、低学年を中心にできている子が多い。挨拶の大切さを価値づけていくことが大切だと思う。(Cグループ)
  - ・ 顔見知りになると挨拶しやすい。知っている人にはできる。旗振りや関係してくれている人、知っている人に挨拶できれば、それでいいのではないか。(Eグループ)
  - ・ 学校の挨拶指導を引き続き大切にして欲しい。(Fグループ)

- ④ 休み時間に子供たちが安心して遊ぶことができる環境をつくるためにできることは何か。
- ・ Hello スポーツを地域と協力しながら継続していくことが大切。体育を通して、自分で生きる力を育てていくことも大切。(Cグループ)
  - ・ 休み時間の使い方は、子供たちに任せている。子供たちを見る教員が足りないため、見守るボランティアも必要。(Fグループ)
- ⑤ 子供たちが一層、自分の考えをもって挑戦したり、夢や希望をもって自分らしく学んでいったりするために、何ができるか。
- ・ キャリア教育とは何か、理解が難しい。学校でどんなことを目指してキャリア教育を行っているのか、知りたい。発信してほしい。(Fグループ)
- ⑥ 登下校の見守りを含め、よりよい連携、よりよい活動をしていくために何ができるか？
- ・ 得意なところを認めて、そのプラスを促していくとよいのでは。(Dグループ)
  - ・ 前と比べると、いろいろ配信されていて、学校と保護者がつながっている気がする。(Dグループ)
  - ・ 旗振りボランティアへの批判的な意見もあるが、見守りを手厚くするには、もっと人数を増やす必要がある。(Eグループ)
- ⑦ 教職員が、子供と向き合う時間を確保するために何ができるか。
- ・ 教職員の昼休みの確保のためには、CSの協力(昼休み見守り隊)があるとよい。(Bグループ)
  - ・ 子供たちともっと向きあう時間を取ってあげたい。しかし、地域の方々が、このように動いてくださっていることで、時間を捻出し、子供と向き合う時間ができている。アンケートの結果に一喜一憂するのではなく、先生方も毅然とした対応をしていただくことが大切。(Cグループ)
- ⑧ その他
- ・ 参観会をみると、授業の内容がよくわかる。CSボランティアがどこまで関わってよいのか、教えて欲しい。(Bグループ)
  - ・ 子供だけじゃなく、大人も変わっていかないと、みんなが変わっていくことがよい。
  - ・ 子供たちとの触れ合いでも、うまく乗せていくことが、大切。やり方次第で、変わってくることもある。心の扉が開いたと感じる経験があった。発達支援のこともすごく聞いてくれている。学校に相談するといひ。(Dグループ)
  - ・ 見過ごしてきたこと(いじめなど)を、先生たちが拾ってくださっている気がする。タブレットは簡単だが、苦勞したことは、身につけている。興味のあることに熱中していることは、いいことなのではないか。言い方を考えて伝えることは大切。大人になっても素直に謝ることは、大切。(Dグループ)
  - ・ 子供たちの外遊びの機会減が気になる。家庭で教育してほしいことなど、学校に任せられる範囲が大きくなっている。地域の方たちは、学校に関わりたいたいという思いを持っている。学校のやり方や思いもあるため、学校が地域に手伝ってほしいことや、こういうことをしてほしいという思いを伝えてくれたらうれしい。ボランティアさんに、どこまでどのように関わってもらいたいかを明確に共有できると手伝いやすい。学校の方

針と家庭での理解のずれ、ギャップがある。学校から、必要に応じて示してくれると、風通しの良い関係となる。(Eグループ)

(2) 多様性を認め合える安心感のある学級・学年・学校づくりに必要な支援について

(熟議) 学校・家庭・地域でできること

相生小職員退出後、熟議を再開した。委員より、以下の発言があった。

- ・ つらく悲しいときは、ぐっと抱きしめて欲しいという要望があったが、今はスキンシップの行為は避けた方が良くとされている。教育の現場でできることをもう少し開示してほしい。例えば、子供に指導するときは廊下でするなど、指導の方法について、あまりに知らないことが多い。学校現場について親が知る必要があると思う。(麻衣子委員)
  - ・ 学校としては、保護者に丁寧に説明していく。その中で、ご理解をいただくしかない。(校長)
  - ・ 家庭学習は、たくさん出す必要はない。経験上漢字なら、マスを大きくして、丁寧に書く必要がある。量ではなく丁寧さが大切。先日、中学校に行ったが、勉強ができない子は、小学校の内容が分かっていない。だから、学校に行っても面白くない。不登校につながる。(会長)
  - ・ 若い先生からは「子供たちと真剣に向き合っていることが、どの程度、家庭に伝わっているか。」「家庭はどのように子供と向き合っているか。」という話があった。保護者の声に委縮することなく、毅然とした対応を期待する。登校時、旗振りのボランティアの方々も、必ず子供たちに挨拶をしてもよいのではないか。(森田委員)
  - ・ 学力がないまま大きくなるのは、不登校につながる。森田委員の「見せよう大人の背中」という言葉が心に残った。(水谷委員)
  - ・ 理不尽な親、言うことを聞かない子供も多くいると思うが、先生方が一生懸命やってくれていることに感謝しています。(高橋委員)
  - ・ 挨拶をすると、子供たちの反応が全然違う。自分に課しているテーマは「多様性」。同じことを同じように言っても、感じ方が子によって違う。多様性について、よく分からない、どこに線があるのか。名前が分からず、容姿でその人を呼ぶこともあったが、名前を覚えることにより、コミュニケーションが取れるようになってきた。(原委員)
  - ・ 善悪の線引きが日々変わっている。ハラスメントの前に人間関係をつくるのが大切。関係があれば、ハラスメントの線引きが変わってくる。(校長)
  - ・ ハラスメントを主張する風潮によって、現場の先生たちを委縮しているのでは？(森田委員)
  - ・ 子供たちの方が情報量が多いのかもしれない。心配する保護者が増えているかもしれないが、その点では、相生小は、保護者に助けられている。(校長)
- 熟議の結果、全員異議なくこれを承認した。

### その他の報告事項等

司会から令和7年度第2回学校運営協議会は、2025年11月12日(水)13:45~16:00 多目的室で開催する旨の報告があった。

**「多様性を認め合える安心感のある学級・学年・学校づくりの具体策」を考えるために  
～「学校の現状」を知っていただき、「支援の方法や関わり方」について共に考える～**

## 1. 課題の背景と目的

教員は「授業の質を高めたい」「子供と丁寧に向き合いたい」という強い思いを持っている。しかし、教材研究やノート指導、家庭学習の見届け、個別対応、児童理解のための様々な時間の確保が困難であるという現状がある。

このような課題を少しでも改善し、教員が本来の教育活動に集中できる環境をつくるのが子供の学びの質や学校全体の安定性、そして一人一人のウェルビーイングにつながっていく。

そのために、学校や教員一人一人が業務の見直しを進めることはもちろん、学校の現状や教員の困り感などの情報を保護者や地域と共有し、地域全体で子供を育てていく連携体制づくりをより進めていくことが必要である。

## 2. 10年前と比較した学校現場の変化

この10年間で、学校を取り巻く環境は良い意味でも悪い意味でも大きく変化している。

### 【良い変化】

#### ○ICTの普及

タブレット端末の導入、普及により、授業の幅が広がった。本校でも高学年を中心に、積極的に活用し、個別最適な学び（学習における多様性への対応）の実現につなげている。

#### ○多様性の尊重

日々の授業における学習理解や進度、興味関心の多様さはもちろん、特別支援、不登校、外国籍児童への支援など、より多様になっている。また、様々な立場の職員が学校に所属し、外部の専門機関との連携も強化されるようになった。

#### ○地域との連携強化

コミュニティ・スクールの普及により、地域や保護者が学校運営に積極的に関わるできるようになった。本校でも、学校運営協議委員の力強い支援のもと、CS ボランティア（風の子・太陽の子応援団）の方々の多くの協力を得ることで、子供たちの教育の安全性や充実感につながっている。

### 【課題】

#### ▲慢性的な人員不足

多様性に対応できる人員が不足している。職員室に職員がいない（事務員のみ、用務員のみ）状況も少なくなく、助勤対応（欠勤職員の補助）や緊急対応、来校者・電話対応、校内の連携・情報共有などが難しくなっている。

#### ▲業務の複雑化・増加

ICT活用や記録の電子化により事務作業がむしろ増加する面もある。授業や事務作業で効果的に活用する技能を身に付けるために必要な研修時間を生み出すことが難しい。

#### ▲「いじめ」対応業務の増加と人員確保の困難

文部科学省によるいじめの定義拡大（「いじめられたと感じた時点でいじめとする」）により、学校での対応件数が大幅に増加。各事案に対して、詳細な聞き取り・記録・家庭連絡が求められる、事務処理も煩雑化している。また、原則2人体制での聞き取りが必要となり、人員確保が困難となっている。結果として、対応に多くの時間（朝活動、10分休み、生き生きタイム、昼休み、放課後等）が必要となる。

#### ▲多様なニーズへの対応

特別支援、家庭支援、メンタルケアなど、専門性と時間を要する支援が増えている。

### ▲社会の期待の高まり

学校に求められる役割が拡大し、「何でも学校で」という風潮が強まっている。

### ▲標準時数（各教科で決められた最低限実施すべき授業の数）

標準時数を大幅に超えないように年間時数を計画することが文科省の方針として出たため、一昔前のように創意工夫を生かした行事、探究的な学習、補充学習、特別活動（子供の自主性を大切にした係活動や委員会活動など）、地域の特色を生かした活動などの実施が難しくなっている。

## 3. まとめ

学校現場では、子供たちの多様なニーズに応える努力が続けられています。しかし、業務内容の増加や複雑化、人手不足などにより、教員が子供たちへの教育活動に十分な時間を割くことが難しい状況にあります。

教員の働き方改革は、単なる負担軽減ではなく、「子供の学びの充実と安全・安心な生活のための改革」として、早急に取り組むべき課題です。

7月の「前期学校評価の結果」「第2回学校運営協議会の熟議内容」、その他「教職員の日々の声」を踏まえ、子供たちの教育環境をより豊かにするため、学校運営協議委員の方々のお知恵やお力添えを借りたい具体的な課題を以下に絞りました。

#### ＜児童の安全な生活のために＞

##### ①「登下校時の安全確保」

子供たちの登下校時の安全をより強化したいという保護者の声がある一方で、学校職員だけで全ての時間・場所での見守り（特に登校時）を担うことが困難な状況です。

##### ②「始業前の時間における子供たちの安全な居場所の確保」

教員の出勤時刻よりも早く（7:35～8:00頃）登校するため、子供たちが安心して過ごせるよう、教室での出迎えや外遊びの見守り（けがやトラブル対応を含む）が必要です。全国の各自治体での様々な取り組みが増えてきています。

##### ③「休み時間（特に昼休み）における質の高い見守りと指導」

子供たちの遊びや運動経験が不足していること、自分たちで解決する力（かかわり方）が弱くなっていることから、けがやトラブルが増加しています。また、担任は本来休憩時間ですが、子供たちの見守り、個別の学習支援（家庭学習への目通し）などのため、十分な休憩時間が取れていません。フリーの教員も同様、様々なクラスの支援に入るため、子供たちの問題やニーズに対応する時間となっています。

#### ＜児童の充実した学習のために＞

##### ④授業中の個に応じたきめ細やかな学習支援」

低学年を中心に子供たちの多様なニーズにきめ細かく応えるための十分な支援が難しい状況です。

##### ⑤子供の主体的で意味のある家庭学習の実現と質の向上」

家庭学習をより主体的で意味のあるものにするための見直しが進んでいますが、本校でもそのためにどのような学習を課題として出すべきか、そして家庭にどのように関わってもらうべきかを検討しています。現状は、その指導や評価に教員が多くの時間を費やし、休み時間や時間外勤務（持ち帰り含む）が増加しています。

[参考] 文科省の示した業務分類（学校・教師が担う業務に係る3分類）

文部科学省は、教員の業務を3つに分類して整理している。これにより、学校・教育委員会・地域がそれぞれの役割を明確にし、教員の負担を軽減する方向が示されている。

分類	概要	具体的な業務例
学校以外が担うべき業務	本来、行政・地域・保護者などが関与すべき業務	登下校の見守り、学校徴収金管理、地域行事調整、過剰な苦情対応など
教員以外が積極的に参画すべき業務	事務職員・支援員・地域人材などが担える業務	ICT 機器管理、行事準備、校務支援システム運用、掲示物作成など
教員の業務だが負担軽減すべき業務	教員が担うが効率化・支援が必要な業務	授業準備、成績処理、通知表作成、部活動指導、いじめ対応の記録・報告など

# CS だより



## 風の子 太陽の子



～ともに未来を創る～ 令和7年5月23日

相生小学校コミュニティ・スクール (CS) 第1号

### コミュニティ・スクール (CS) とは？

コミュニティ・スクール (CS) とは、学校運営に関して協議をする「学校運営協議会」を設置している学校のことです。学校運営協議会では、保護者や地域住民が委員となり、さまざまな立場から学校に関することについて意見交換、情報交換が行われています。それによって、地域と学校が力を合わせて「特色ある学校づくり」を進めています。相生小では、令和4年度からコミュニティ・スクール (CS) が導入され、令和7年度から第二期に入ります。



### コミュニティ・スクール (CS) って何をするの？

コミュニティ・スクール (CS) では、協議を行うだけでなく、相生小の教育活動を支えるためのボランティアを地域や保護者から募集して、学校の活動に参加していただいています。

今年度も学校に力を貸していただける保護者や地域の方々によるボランティア (風の子・太陽の子応援団) を結成し、4月23日に「はじめの会」を行いました。学校支援コーディネーター (CD) が連絡・調整をし、外部講師やボランティアと協力しながら進めている教育活動がたくさんあります。学校HPにも、コミュニティ・スクール情報をアップしていますので、是非ご覧ください。

### 令和7年度 第1回 学校運営協議会開催

5月12日 (月) に、相生小学校運営協議会を開催しました。第二期目となる令和7年度第1回学校運営協議会では、新たなメンバー紹介とともに、会長・副会長の選任を行いました。

会長には大谷一雄委員、副会長には水谷加寿代委員が、新たなメンバーとして、高橋克好委員、鈴木徹也委員が選任されました。

熟議では、学校運営の基本方針やいじめ防止基本方針等について協議を行いました。今年度は、「現在の取り組みを継続していきながら、更なる周知と御協力いただける体制を整えていく。《温かくかかわる》に重点を置き、積極的に大人からコミュニケーションをとっていく。学校との最大の接点となる『風の子・太陽の子応援団』に現役の力を呼び込もう。」を取り組みの重点としていくことが、決まりました。



相生小学校運営協議会の会議は、傍聴が可能です。関心のある方は、事前に学校まで、ご連絡をいただければ、どなたでも傍聴ができます。



温かく  
かかわる力



自分を  
高める力



あきらめずに  
挑戦する力



夢をもち  
つなげる力



浜松市立相生小学校  
キャリア教育を  
推進しています。

# CS たより

## 風の子 太陽の子



～ともに未来を創る～ 令和7年9月5日

相生小学校コミュニティ・スクール (CS) 第2号

CSディレクター 伊藤龍彦

### 第2回 学校運営協議会が開催されました

7月25日(金)に、相生小学校運営協議会を開催しました。第2回となる学校運営協議会では、従来と異なった取り組みとして、相生小教職員全員参加による学校運営協議会となりました。

2部構成による協議会では、1部では、各委員・教職員全員・学校支援コーディネーターが、グループをつくり、前期学校評価結果に対する改善策の検討について、熟議を実施しました。

2部では、各委員・学校支援コーディネーター・4つの専門部のリーダーが参加をして、多様性を認め合える安心感のある学級・学年・学校づくりに必要な支援について、熟議が開かれました。



教職員全員参加の学校運営協議会

#### 【第2回学校運営会議の主な熟議内容】

- (1) 前期学校評価結果と今後の取り組み  
熟議 『課題を踏まえた改善策の検討』
- (2) 多様性を認め合える安心感のある学級・学年・学校づくりに必要な支援について  
熟議 『学校・家庭・地域でできること』

- (1) 前期学校評価結果に基づき、アンケート概要の説明及び熟議の方法について、主幹教諭より説明がありました。その後、学校運営協議会委員と相生小職員とで4～5人ずつのグループを作り、前期学校評価結果に対する改善策の検討に対する熟議を実施し、その後、各グループ別に意見交換の内容の発表をしました。

課題・テーマはHP上の令和7年度第2回相生小学校運営協議会会議録に記載されておりますので、ご参照ください。

- (2) 熟議(2)では、以下のような意見が出されました。(一部要約)

- ・挨拶をしたり、名前を覚えたりすることで、子供の反応が全然違う。同じことを同じように言っても、感じ方が子によって違う。多様性について意識しながら子供たちと接することが大切である。それらを知ったうえで、大人が積極的にコミュニケーションをとっていくことが支援の一つになる。
- ・家庭学習は、量ではなく丁寧さが大切。小学校での学習の定着は、中学校につながり、子供の健全な成長にもつながる。保護者はもちろん、地域が協力できることを考えていく。
- ・子供の指導の方法や接し方など、以前と変わってきている部分が多い。保護者や地域が学校と関わり、支援していく上で、今の学校現場の現状について知る必要がある。



温かく  
かかわる力



自分を  
高める力



あきらめずに  
挑戦する力



夢をもち  
つなげる力



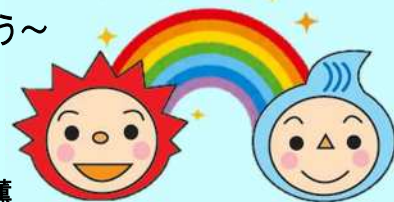
浜松市立相生小学校

キャリア教育を  
推進しています。

令和7年9月 CSボランティア「風の子 太陽の子 応援団」

# 風・太応援団だより No.1

～出来ることを・出来るときに・出来るところから 始めよう～



学校支援コーディネーター 中川有香・佐々木千枝子・松本薫

相生小学校では令和4年度から『コミュニティ・スクール（CS）』になりました。

『CS』とは、『学校運営協議会』を設置し、『保護者や地域の皆さんと協働体制をとり特色ある学校づくりを推進している学校』のことです。その活動に参加していただくボランティアさんを“風の子・太陽の子応援団”と呼んでいます。この応援団の皆さんの力をお借りして、子供たちが充実した学びが出来ること、そして、様々な人と関わる事で『温かく関わる力』を育てて行くことができることを目標としています！

この“風・太応援団だより”では、CSボランティアについての理解を深めるための情報を発信していきます！

## 【一学期の活動の様子】

### 4月

#### 【1年生 下校見守り】

入学式の次の日から1週間、集団下校に付き添いました。

「前を見て歩くよ～。止まれだね、右左 しっかり見て。車は来てないね。じゃあ行こう！」

安全に気を付けながら、一緒に歩きました♪

#### 【風・太応援団 はじめの会】



#### 【1年生 給食補助】



ごはんパックは、ただで片付けるよ。上手に半分にたためるかな？

保護者・地域・学校が一体となって共に輝く活動にしましょう！

今年度の登録者も100名を超えました👏  
各ボランティアの説明をしたり担当の先生と顔合わせをしたりしました。

## 5月

### 【1年生 アサガオの種まき】

子供たちは〈アサガオ博士〉の言うことをよく聞いて、楽しそうに活動していました！ボランティアの方々も子供たちと触れ合えて楽しい時間を過ごせたそうです♡

### 【2年生 野菜の苗植え】



しっかり土を被せて～

くきを折らないようにそっと結ぶよ！

どの位、土を入れたらいいか不安そうにしている子供たちに、優しく語り掛けるボランティアさん！！子供たちから引っ張りだこ(^^♪とっても頼もしい存在です♡

バランスをとって～。上手、上手👏がんばって！！



### 【Hello! スポーツ (ハロスポ)】

ハロスポが始まるまでに 器具の準備をします。運動中も活動の補助や見守りをして、終了後は片付け。時間としては、1時間もありません！

## 6月

### 【3年生 相生たんけん隊】



こうやって醤油が作られるんだね～。

### 【2年生 校外学習】



あっちに集まるみたいだね。

車道を歩く際にも優しく声掛け！子供たちの安心・安全をサポートしました。

たくさんのボランティアの方々のご参加くださったおかげで、例年以上の手厚いサポートとなりました☆

## 【クラブ活動】



今日は  
負けないぞ！！



そうそう、  
そこを押さえて

力を入れて！  
もう少し！！  
煙が出てきたよ！



## 【5年生家庭科 裁縫】

初めての『針』に戸惑う子供が 針を運ぶ事の大切さを伝えてくださるボランティアさん！  
根気のいる作業ですが、大きな愛情で子供たちを包み込んでくださっています☆

## 【4年生総合 妊婦体験】



みんなの赤ちゃん  
はどんな顔かな？



妊婦さんの生活  
伝わったかな？

## 【1年生 プール補助】



濡れてるところはないかな？  
しっかりふいてから行こうね

着替えの補助から、授業中の安全の見守りまでしてくれました。着替えでは、ゴーグルがうまく付けられなかったり、帽子の中に髪を入れたりすることがうまくできません。時間内に着替えを終えることも難しいです。そのための補助、声掛けをお願いしました。

## 【読み聞かせ・環境】

子供たちの近くで  
読み聞かせが出来て  
嬉しいな♡



### 【フラワーグリーン委員会 苗植え】

花壇に花の苗を植えました。  
スペースを考えたり、色合いを考えたり、楽しみながら植えました！

大きくな〜れ！  
きれいな花が咲きますように。

### 【園芸 花壇水まき】

休日は児童がお水をあげられないのでボランティアさんがお手伝いしています。

さようなら〜気を付けて〜。交通ルールを守って安全にね。

### 【地域安全推進委員

#### 及び 交通安全見守りボランティア】

暑い日も、雨の日も、いつも子供たちの登下校時に子供たちの見守りをしてくださっています。いつも本当にありがとうございます！



学校ホームページや、学校だより・CSだより等で、様々な活動の様子を掲載していますので、どうぞご覧ください。また、現在までに実施した活動は、職員室前に掲示してありますので、学校にお越しの際に、是非ご覧ください。

## 2学期のボランティア活動の予定

- ☆ 1年生 見守り（秋見つけ）
- ☆ 2年生 校外学習、図工（版画）
- ☆ 3年生 書初め、校外学習
- ☆ 4年生 総合（パパママ体験）、図工（のこぎり）
- ☆ 5年生 家庭科（ミシン）、図工（電動のこぎり）
- ☆ 6年生 家庭科（ミシン）
- ☆ 図書（読み聞かせ・環境整備、読書まつり）
- ☆ 園芸（休日の花壇水やり）

### 【新規】

- ☆ 運動会の片づけ
- ☆ 持久走大会のコース見守り

活動が確定したら、登録されたグループにさくら連絡網でお知らせします。

### 【学校運営協議会 開催日】

- ☆ 第3回 令和7年11月12日（水）
- ☆ 第4回 令和8年 2月25日（水）

※どなたでも傍聴いただけます。傍聴希望の方は、前日までに学校までお知らせください。

## 【御案内】

現在、保護者・地域の方など **100 名以上**の方が活躍中です！

**風の子・太陽の子 応援団** は 随時募集中

お問合せ・ご不明点などは、

**学校支援コーディネーター 中川・佐々木・松本** まで

風の子・太陽の子応援団では、下の写真のようなビブス・タスキを着用して活動しています。  
ビブスは学校より貸出を致します。タスキは浜松市HPより申請して頂くと、ご自宅に郵送されます！

お子様の送迎時・ご近所のお散歩の時など、ちょっとした時にご活用ください

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/documents/87347/tourokuyousi.pdf>



温かく  
かかわる力



自分を  
高める力



あきらめずに  
挑戦する力



夢をもち  
つなげる力



浜松市立相生小学校

キャリア教育を  
推進しています。

# ボランティア 7つの心得

浜松市立相生小学校

夢をはぐくむ  
風の子・太陽の子応援団  
相生

## モットー

できることを  
できるときに  
できるところから  
始めましょう。

## 寄り添う

子供たちの気持ちを  
尊重し、笑顔で  
接しましょう。

## 人権

人権感覚をもって  
子供たちに  
接しましょう。

## コミュニケーション

積極的に  
コミュニケーションを  
取るよう  
心掛けましょう。

## 安全

安全に  
気を配って  
活動しましょう。

## 相談

心配事や  
気付いたことは  
担当職員に相談  
しましょう。

## プライバシー

学校や子供の  
個人的な情報は  
漏らしてはいけ  
ません。



## 配慮すること



「ばか」「とろくさい」など  
人を見下す言葉や、身体的なこと  
でなかったり、動物や不要物に  
例えてはなりません。

子供たちが使っていた場合は  
声掛けをお願いします。

また「男(女)はこうあるべき」  
「男(女)らしく」という考え方や  
行動を押し付けないようにしましょう。



子供たちから  
思いもよらない返答を受ける  
ことがあるかと思いますが  
子供たちを慈しむ温かな気持ちで  
接していただくと幸いです。

そして何よりボランティアをして  
くださる皆さま自身が楽しんで  
活動してください。



風の子・太陽の子応援団は、

相生小学校の全ての子供たちのサポーターのことです。  
《なりたい自分》に向かって頑張る《子供たちの応援団》です!

QRコードを読み取っていただくと、  
相生小学校HPにアクセスできます。  
そこからボランティア活動の様子を  
ご覧いただくことができます。



あいスポ補助/ハロスポ



図書ボランティア/読書まつり



学習補助/家庭科

# 風の子・太陽の子は...

## 風の子・太陽の子応援団の活動

今まで活動していた内容も含まれます。



### 風の子

未来に向かって夢を持ち  
自ら立てた目標を達成しようと  
苦しみにくじけることなく  
仲間とともに粘り強く  
挑戦する 心身両面にわたる  
たくましさをもった子



### 太陽の子

みんなのルールを守り  
相手の気持ちや立場を考えて  
誰に対しても思いやりをもって接し  
学び合い 共に成長しようとする  
温かい心をもった子

### 学習補助・見守り

町探検/公園探検/グループ別学習/  
家庭科/図画工作/書初め/凧あげ/  
パパママ体験/妊婦体験/給食補助 など

### 講話

戦争時の話/相生の今と昔/  
昔の生活/生き方講座 など

### あいスポ補助

ハロースポーツ/用具の準備・片付け/  
用具・グラウンドの整備 など

### クラブ活動補助

昔の遊び/音楽/囲碁・将棋/  
日本文化 など

### 図書

朝の読み聞かせ/環境整備/  
校内掲示/読書まつり など

### 園芸

土日祝日・長期休業中の水やり/  
花壇づくり/種・苗植え/草取り/  
ビオトープの整備 など

### 交通安全

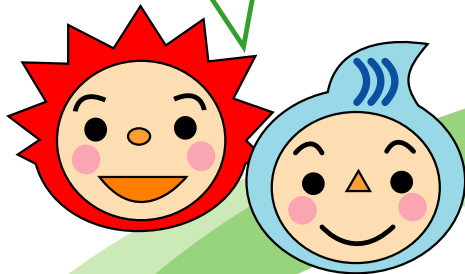
登下校の見守り/交通教室補助/  
自転車教室補助 など

わたしたちのために  
相生小学校へ  
来てください

### みんなの メリット

### 地域の皆さん にとって

経験を生かすことで  
子供や地域の役に立って  
いるという充実感に繋が  
ります。  
学校を通して多くの人と  
交流することができます。



### 保護者にとって

保護者同士や地域のみなさんとの  
人間関係が構築できます。  
学校や地域に対する理解が深まります。  
地域の中で子供たちが育てられて  
いるという安心感があります。

### 教職員にとって

地域の皆さんの理解と  
協力を得た学校運営が実現  
し、子供たちと向き合う時  
間の確保につながります。

### 子供たちにとって

多くの人と関わり、  
学校だけでは実現できない  
豊かで多様な体験や学びが  
充実します。